

報道機関各位

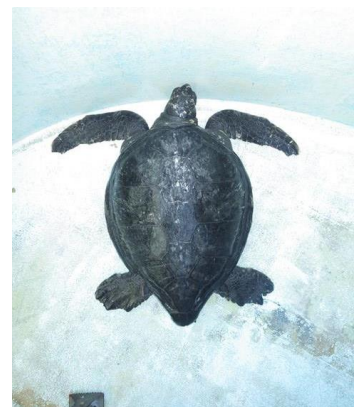
海洋博公園管理センター

世界初！！ クロウミガメの赤ちゃん誕生

海洋博公園・ウミガメ館では、国内稀種であるクロウミガメの飼育下での繁殖に世界で初めて成功しました。

【クロウミガメ】 《学名》 *Chelonia agassizii*

メキシコ・バハカリフォルニアからペルー南部、ガラパゴス諸島を中心とした東太平洋が主な生息地とされている。背甲と腹甲が灰色から黒色で、後肢基部の背甲においてくびれが認められることが特徴。国内では、南西諸島を中心に、沖縄本島でも稀に発見されている。



親のクロウミガメ（雌）

海洋博公園では本種の繁殖に以下のとおり成功しました。

- ・ 2015 年 3 月 本種の雌雄の同居開始。
- ・ 2017 年 3 月 超音波画像診断によって雌の性成熟を初めて確認。
- ・ 2017 年 5 月 24 日 交尾を確認。
- ・ 2017 年 6 月 25 日 初産卵を記録。

初回産卵から 8 月 11 日にかけて 5 回の産卵を行い、計 262 個の卵を産出しました。8 月 27 日に初めて孵化を確認し、9 月 16 日現在で 11 個体が生まれ、ウミガメ館での展示を開始しております。

今回の繁殖成功によって、雌クロウミガメの成熟開始サイズや、卵形成に要する日数が明らかになりました。本種の繁殖生態については知見が乏しく、今後も飼育を継続することで、また新たな知見が得られることが期待できます。



クロウミガメの赤ちゃん
（孵化後 20 日）

<お問い合わせ先>

海洋博公園管理センター イベント・広報担当

TEL: 0980-48-2741 / FAX: 0980-48-3626